

経営概要書

法人名：

株式会社 秋田県食肉流通公社

(株12)

代表者職氏名	代表取締役 伊藤 富彦
所在地	秋田市河辺神内字堂坂2-1

所管部課名	農林水産部畜産振興課
設立年月日	昭和53年6月6日

【沿革及び県の出資理由】

秋田県における肉畜及び食肉流通の合理化を図り、もって畜産農家の経営安定と県民生活の向上に寄与することを目的に、昭和53年6月6日に設立。と畜という広域的かつ公共的な事業を行う会社であることから、県も出資した。

【出資者】 (H26年度当初)

(単位：千円、%)

区分	団体数	出資額	構成比
秋田県	1	445,710	33.8%
市町村	25	16,000	1.2%
その他	6	857,990	65.0%
計	32	1,319,700	100.0%

【事業】

①主たる業務

- 1, 肉畜の集荷、と殺、解体
- 2, 枝肉及び副産物の買い取り並びに受託処理加工
- 3, 食肉及び副産物の加工並びに貯蔵販売
- 4, 上記に付帯する一切の事業

②事業実績

(単位：頭)

事業名等	H23年度	H24年度	H25年度
豚と畜頭数	153,258	159,012	168,027
豚カット頭数	59,120	70,446	78,682.5

③H25年度事業概要及びH26年度事業計画・目標

(H25年度事業概要)

と畜(豚) 168,027頭(牛) 4,125頭(馬) 346頭、カット(豚) 78,682.5頭(牛) 939.5頭(馬) 179頭  
枝肉・加工品販売高7,685百万円、総売上高8,175百万円

(H26年度事業計画・目標)

と畜(豚) 169,000頭(牛) 3,750頭(馬) 450頭、カット(豚) 80,000頭(牛) 910頭(馬) 190頭  
枝肉・加工品販売高7,224百万円、総売上高7,709百万円

【組織】

①役員数(H26.7.1現在)

(単位：人)

区分	取締役		監査役	
	H25	H26	H25	H26
常勤	3	3	1	1
内、県退職者				
内、県職員				
非常勤	7	7	2	2
内、県退職者				
内、県職員				
計	10	10	3	3
内、県関係者				

②職員数(H26.4.1現在)

(単位：人)

区分	H25	H26	正職員 平均年齢 42.1歳	正職員 平均勤続年数 16.2年
正職員	53	53		
内、県退職者				
出向職員	2	2		
内、県職員				
臨時・嘱託	6	5		
内、県退職者				
計	61	60		
内、県関係者				
			正職員平均年収(H25年度)	4,198千円

役員報酬支給対象者数(H25年度)	4人
役員報酬支給対象者平均年齢	58歳
平均役員報酬額(H25年度)	6,150千円/年

【財務】

①損益計算書

(単位：千円)

区分	平成24年度	平成25年度
売上高	6,816,568	8,175,722
売上原価	6,461,104	7,806,262
売上総利益	355,464	369,460
販売費及び一般管理費	367,302	366,206
人件費(売上原価含む)	345,787	341,600
営業利益(損失)	△ 11,838	3,254
営業外収益	21,030	20,435
営業外費用	395	117
経常利益(損失)	8,797	23,572
特別利益	4,750	140
特別損失	9	309
法人税・住民税・事業税	5,152	16,684
当期純利益(損失)	8,386	6,719

②貸借対照表

(単位：千円)

区分	平成24年度	平成25年度
流動資産	1,008,136	946,252
固定資産	678,338	669,527
資産計	1,686,474	1,615,779
流動負債	286,893	211,472
短期借入金	1,740	
固定負債	132,212	130,219
長期借入金		
負債計	419,105	341,691
資本金	1,319,700	1,319,700
利益剰余金等	△ 52,331	△ 45,612
純資産計	1,267,369	1,274,088
負債・純資産計	1,686,474	1,615,779

退職給与引当状況	(単位：千円)		
	要支給額	引当額	引当率(%)
	180,974	91,234	50.4

区分	平成24年度	平成25年度
県の貸付金残高	—	—
県の損失補償残高	—	—
県の債務保証残高	—	—

【県の財政支出】

(単位：千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	支出目的・対象事業概要等
補助金	653			
委託費	1,267	2,100	2,688	秋田県産牛肉の放射性物質検査に係るサブリング等業務委託他
指定管理料				
貸付金				

1 主な経営指標

項目		単位	H23年度	H24年度	H25年度	H23-24増減	H24-25増減
健全性	自己資本比率	%	75.62	75.15	78.85	△ 0.47	3.70
	借入金依存率	%	0.26	0.10	0.00	△ 0.16	△ 0.10
	流動比率	%	376.25	351.40	447.46	△ 24.85	96.06
収益性	剰余金(△欠損金)	千円	△ 60,717	△ 52,331	△ 45,612	8,386	6,719
	経常利益率	%	△ 0.16	0.13	0.29	0.29	0.16
	総資本利益率	%	△ 0.61	0.52	1.46	1.13	0.94
効率性	総資本回転率		3.86	4.05	5.07	0.19	1.02
	職員1人当たり経常収入額	千円	108,819	112,092	134,363	3,273	22,271
	人件費比率	%	5.11	5.06	4.17	△ 0.05	△ 0.89

2 経営目標の達成状況

経営目標		区分	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
指 経営改善目標	剰余金(千円)	目標	△ 20,000	△ 40,000	△ 47,000	△ 41,000
		実績	△ 60,717	△ 52,331	△ 45,612	
	借入金残高(千円)	目標	4,399	1,700	0	0
		実績	4,356	1,740	0	
指 事業成果	と畜頭数(豚換算：頭)	目標	175,050	177,450	180,450	181,600
		実績	166,407	171,756	181,440	
	カット頭数(豚換算：頭)	目標	92,500	82,000	89,500	91,000
		実績	69,465	81,101	89,867.5	
顧客満足度指数	目標	87	87	87	87	
	実績	68	—	88		

3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

1、経営状況及び課題

集荷頭数は計画を上回ったものの、販売において高級部位の荷動きが低調なほか、豚枝肉相場の高値により厳しい販売環境であった。収支面においては、施設の老朽化による修繕費等の増加や光熱費の増加などにより、計画を下回る当期利益となった。

県内における肉畜生産環境は、生産者の高齢化に加え、疾病、飼料価格の高止まり、素畜費の高騰などにより生産基盤が脆弱化しており、生産数量の減少が見込まれるため集荷頭数の確保と施設の老朽化に伴う機械設備等の更新が課題である。

2、経営目標の達成状況についての自己評価

生産者の一部廃業があったものの、大規模農場からの出荷増により目標頭数を達成できた。豚のと畜頭数は9千頭、カット頭数は8千頭前年を上回った。平成26年度においても事業成果指標の達成を図り、健全な経営体質の維持に努める。

<顧客満足度調査の結果を受けて実施する取組>

調査を継続し、消費者のニーズの把握に努める。

<H25年度経営評価指摘事項(早期の改善が望まれる事項)>

指摘事項：なし

措置状況：

4 総合評価(計算書類等の資料及びヒアリングによる評価)

A 概ね良好	<b>B 改善の余地あり</b>	C 改善措置が必要
--------	------------------	-----------

・販売頭数の増加及び高値相場の影響により、売上高は前年度に比して1,359,154千円増加した。また、これに伴う事業経費の増加により、営業費用(売上原価・販売費及び一般管理費)は1,344,062千円増加した。よって、営業利益は前年度比15,092千円増加の3,254千円となった。経常利益は前年度比14,775千円増加の23,572千円、当期純利益は法人税等の増加により前年度比1,667千円減少の6,719千円となった。

・利益剰余金等は△45,612千円と繰越損失であり、欠損の累積は年々減りつつあるものの期間損益の水準に比してやや多いことに加え、と畜豚は全量買い取りのため相場の局面によっては仕入原価より低い価格での販売を余儀なくされる機会損失発生リスクを抱えており、財務基盤は安定しているとは言えない。

・経営改善指標については「剰余金」、「借入金残高」とともに目標水準を確保している。事業成果指標については「と畜頭数」、「カット頭数」とともに目標を上回った。

【改善が望まれる事項】

引き続き、旧式設備の更新投資を計画的に進め減価償却費・修繕費の発生を慎重にコントロールすることで、早期の累積欠損解消を実現することが望まれる。